

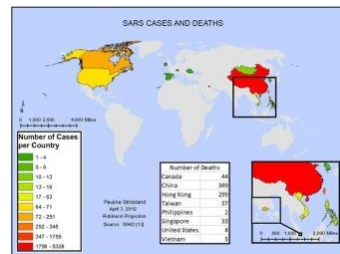


環太平洋域の SARS/MARS アウトブレイク

ホテル／病院内感染が多いのが特徴

<https://l-hospitalier.github.io>

2020.2

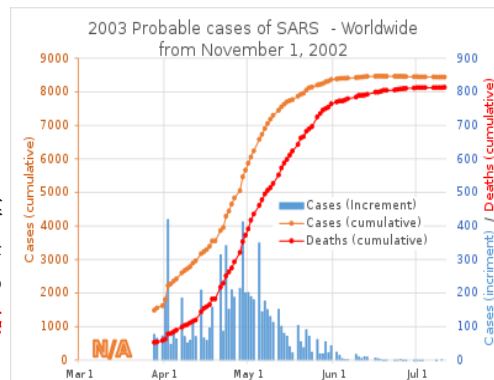


↑ 2003 年
SARS 発生
地域

感染対策の基礎知識

#231

【発端と経過】2002/11、**広東州**の農家の男がインフル様症状で第一人民医院へ。病因は特定されなかったが中国政府は 2003/2 まで WHO に報告せず。この後のインフル様疾患のアウトブレイクは WHO の **GOARN** (Global Outbreak Alert & Response Network) の一角、カナダの GPHIN (Global Public Health Intelligence Network) Web 監視網に検知され WHO に報告。WHO は 2002/12/5 と 12/11 に中国当局に照会。2003/2 に WHO が対策を講じる前に約 2000 人が感染、500 人死亡と推定される。一般メディアがアウトブレイクを認識したのは 2003/2 中国に渡航した中華系米人 J Salisbury がシンガポール行き機内で肺炎を発症。飛行機はハノイに寄り 2/26 患者を **ハノイ・フレンチ・ホスピタル**に入院させたが転院先の香港で死亡。ハノイでは一般的プロトコルで看護したが、この患者から複数の医療スタッフに 2 次感染が発生した。寄生虫研究でフレンチ・ホスピタルにいた WHO のイタリア人医師 **カルロ・ウルバニ**¹は感染危機に気づき WHO とベトナム政府の連携を要請、感染拡大阻止に尽力したが SARS で 3/29 バンコクで死去。**押谷仁**は当時 WHO 西太平洋地域感染症対策アドバイザーとしてマニラに駐在、ウルバニとメールで対策を協議した。2003/3/12 WHO はグローバル・アラートを発し CDC もアラート発出（最初の疑い患者発生から 4 か月後）。感染拡大は**カナダ、米、フィリピン、シンガポール、台湾、ハノイ、香港**に及び**広東省、吉林省、河北省、湖北省、陝西省、江蘇省、山西省、天津市、内モンゴル自治区**に拡大。押谷は WHO 西太平洋事務局責任者として対策を指揮。【**香港**】は 2003/3/29 病院から患者集団（コホート）の発生が報告された。2 月に香港へ到着した本土の中国人医師がインデックス・ケース（発端患者）。彼は九龍の**メトロポール・ホテル**9 階に宿泊 16 人を感染させた。医師はその後死亡、SARS による初の死者。この時感染した宿泊客は、**カナダ・シンガポール・台湾・ベトナム**に向かい到着先で感染を拡大させた。香港では**クイーン・メアリー／プリンス・オブ・ウェールズ**の 2 病院が院内感染を発生。高層マンション群**アモイ・ガーデンズ**でも集団感染が発生。この流行のインデックス・ケースは、プリンス・オブ・ウェールズ病院で慢性腎臓病の治療を受け、アモイ・ガーデンズに弟を訪ねた男性。トイレ排水システムを通じてウイルスを含んだ**エアロゾル**が感染拡大の原因と考えられるほか**齧歯類**や**ゴキブリ**の関与も示唆。香港市民は sosick.org²を立ち上げて情報交換。【**カナダ**】2003/2/23 香港からトロントに帰国し香港の**メトロポール・ホテル**に宿泊した女性から伝播したルートと女性が入院した**スカボロー・グレース病院**の 2 つのルートがある。カナダ政府の対応は消極的で、病院スタッフがスタッフ保護プロトコルのお粗末なのに反発して辞職、スタッフ不足が起きカナダ政府はその後厳しい批判を浴びた。【**韓国の MERS**】2015/4/2 から 5/3 までバーレーン/中東に出張し 5/4 仁川国際空港に帰国した 68 歳男がインデックス・ケース。5/11 発症、5/15～**平沢聖母病院**入院、5/20 に MERS と確定。当初韓国当局は 2 m 以内の密接接触者のみを監視対象としていたが**空調**から 8 階に感染が拡大。最初の二次感染が隔離された翌日妻も呼吸器症状が現れ RT-PCR で確定。2 人部屋の 70 代の男性も 20 日発症、感染が確定。5/26 隔離対象の 44 歳の息子がアジアナ航空 723 便で香港へ逃亡、到着時熱と咳があるので検疫官が「MERS 患者と接触したか」と尋ねたが否定。5/27 韓国当局は出国を確認、WHO 西太平洋地域事務所と中国保健当局に通達。7/28 終息宣言が出た後、完治したと思われる患者が再発、2015/12/24 最終終息宣言まで **186 例感染、死亡 38**。2018/9/9 韓国で輸入 MERS の報告あり。



¹ウルバニは学会でタイへ行く機内で 3/11 発病、アジアで最も設備の良い病院の 1 つ、バンコク・ゼネラル病院で死去。高校英語の教科書に「**A Man Who Saved the World** (世界を救った男)」という教材がある。²2020 年 2 月、sosick.org は香港政府の <https://wars.vote4.hk/cases> 「武漢肺炎の民俗情報 (機械翻訳)」にヒット。